

教職員・院生版生協だより

# かけはし

No. 261

2005年 10月号

発行 名大生協理事会

編集 名大生協教職員委員会

☎ 学内線 7540, 学外線 781-1111

2005教職員委員会活動交流

2005.8.19 名古屋大

学生の学力低下を憂い人間的教育の場としての  
大学教育のありかたについて熱弁する  
富田全国大学生協連教職員委員長



委員会活動交流会に参加された京都大学の教職員委員会の皆さん

名大生協のホームページ (URL) <http://www.nucoop.jp/>  
教職員委員会への e-mail あて先 [kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp](mailto:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp)

# も く じ

主張「新しく生協組合員になられた皆さんを歓迎します」----- 3

## 【報告】

名大で5大学生協が集う教職員委員会活動交流会開催----- 4

教職員委員会下期方針合宿報告「あなたも教職員委員会へ」--- 5

名古屋大学平和憲章エッセイ審査結果----- 6

名古屋大学平和憲章エッセイ入選作品「私と戦争と平和」----- 7

憲法の連続学習会がスタート----- 8

映像で学ぶ「日本国憲法」連続学習会参加者の感想----- 9

大学生協東海地域センター企画オキナワの旅「オキ旅感想」--- 10

瑞浪・中国人殉難者慰霊祭(9/18)----- 14

教職員委員会の活動日誌----- 19

## 【企画案内】

秋のハイキングとバーベキュー～内津峠から愛岐三山へ～---- 20

秋の教職員委員会企画満載----- 裏表紙

## 【記事】

魔言「梅雨明け十日」「偉業の達成」----- 14

ニュースに一喝！「犬は手に載せて食べるか」

「ハリケーンと台風」----- 15

新フィールドノートーその90ー

「富山での日本植物学会に出席して」----- 16

かけはしの輪----- 18

アンケート・クイズ解答用紙----- 22

CO-OP QUIZ <Logic>----- 23



委員会活動交流会に参加された京都大学の教職員委員会の皆さん

8月19日、大学生協教職員委員会活動交流会を名古屋大学で開催した。全国大学生協連教職員委員会委員長の富田関西学院大学教授と久しぶりの対面であった。今から20前、彼は名古屋大学の大学院生であった。その頃の名古屋大学は学生、院生、大学教職員が丸となって日本で、いや世界ではじめてとなる戦争に負担する教育と研究はしないと宣言する平和憲章制定に取り組んでいた。彼はその平和憲章制定運動の中で院生の中心的役割を担っていた。交流会での講演の熱弁ぶりは、若かりし頃の燃え上がるような意欲に満ちあふれていた当時を思わせた。懇親会では旧交を温めつつ、つい互いのお腹に目のやる二人であった。

(みのうら)

表紙の「よび」

# 主張

二〇〇五年度に生協に加入された教職員の皆さん、加入そしてご利用いただき、誠にありがとうございます。

教職員委員会では、この秋（11月下旬）に感謝の意を込めて「食と健康の講演会」と歓迎パーティをグリーンサロン東山内の和風レストラン「花の木」（予定）において行うための企画・準備しています。案内が届きましたら気軽に参加いただければと思います。

名大生協では全国大学生生活協同組合連合会が呼びかけている「秋の生協強化月間（10月～12月）」に取り組んでいます。10月～11月末まで加入及び基準出資額である2万円まで増資されました教職員の皆様に名刺を1ケース（100枚）以上、作成を依頼されますと定額2000円割引の特典を差し上げます。この機会に是非

とも加入または増資をよろしくお願いしたいと思います。全国の大学生協でも珍しい印刷・情報サービス部の連絡先は、内線7552となっております。

名大生協では、安心・安全で、環境に優しい商品の開発、バランスよく安心できる食材を使った食堂メニュー、協同

生協強化月間開催中（名刺作成割引の特典あり）

## 新しく生協組合員になられた皆さんを歓迎します

生協への加入・増資と利用をお願いします!!

の力で書籍の1割5分引を実現したり、インターネットによる和書・洋書注文サービス、書籍利用班（研究室、ゼミ、サークル単位での定期購読冊子の配達システム）の自動振替など、また、ネットワーク時代にマッチしたコンピュータやネットワーク関連商品の提供など事務機器コーナーの

充実、加えて充実した提案力のある旅行・サービスセンターの旅行提案や出張などの手配、迅速対応の印刷・情報サービス部など、生協らしい商品・サービスの提供に日夜努力しています。

四月には、災害時の相互協力に関する協定、六月には理系地区の食堂改修について大

学との協定書が結ばれ、来年秋には理系地区に大きなブックショップとカフェ、理系カフェテリア食堂が全面的に外装・内装もリニューアルされて新しいお店として生まれ変わります。理系地区におられる方には一時ご迷惑をおかけしますが、どうかご期待ください。

さい。

名大生協の加入率は学生

100割弱、院生約70割に対して、教職員の皆様は約半数ほどに留まっています。基準出資金についても学生・院生二〇〇〇〇円に対し、教職員はこの基準額に達していない方も結構おられるのが現状です。教職員委員会では、この期間中に基準額（二〇〇〇〇円）に加入または増資された組合員の方は委員会の企画に半額で参加できます。企画としては「生協みかん（細江町）の産地見学と温泉」11月23日、「第18回音としゃべりの金曜サロン『三味線の夕べ』12月2日」などを企画・準備しています。

この機会に加入・増資にご協力をいただき、そして利用をお願いいたします。

加入または増資をされる方は、北部厚生会館2階「組合員コーナー・内線7540」「医学部書籍部・内線5208」「大幸購買部・7549」までお気軽にお申し付けください。

教職員委員会活動の前進のために

## 名大で5大学生協が集う

### 教職員委員会活動交流会開催

#### 教育は、大学職員・生協も含めた大学の総合力

8月19日、名古屋大学で全国の大学教職員交流会が行われ、北大・東大・名古屋大・京大・広島大の五大学と京滋奈良地域センター、それに全国教職員委員会富田宏治委員長を迎え、25名が集まりました。この交流会は2年ほど前から京都大学生協と相互に店舗見学や大学生協の活動や変化の情報交換をし、また、交流を深めてきました。

○名古屋大学生協の紹介（今井専務）この間の大学との関係、協定書そして今後

○大学の変化と大学生協教職員委員会の課題（富田委員長）

○各大学生協における法人化後の大学との関係並びに教職員の状況と教職員委員会の活動について（名古屋大学、京都大学、東京大学、北海道大学、広島大学）

○地域センターにおける教職員活動について（京滋奈良）

会議終了後20時ごろまで夕食懇談会を行い25名で話し

合いに花を咲かせました。

参加五大学の全てが法人化された大学であることから、法人化後の大学の変化、それに対応する生協のありかたが中心に話し合われました。そしてこれからの少子化も含めた大学の変化の中で大学生協がどう発展していくかを考えるとき、教職員の役割が非常に重要であること、そのためにも教職員委員会の活動がこれまでに以上に求められること等を確認しました。一方厳しい大学の状況のなかで生協の活動に時間をさける教職員が少なくなっている現実もあり、その中で教職員活動をどう強めるかが緊急の全国的な課題であることも確認しました。

なお来年は東京大学にコミュニティションプラザが秋に完成し、新しいお店がオープンするので、さらに参加大学を増やして実施す

ることを確認しました。

今回は全国連合会からは富田委員長をお呼びしました。その話の中で、私学では生協に使用料を取るどころか補助が出ていて、大学間の競争に勝ち抜こうとしている。大学の教育力一人間の教育の場として様々な取り組みが行われている。生協が学生の正課・課外の生活を充実することに、よる人間的成長の支援、学び合い、競争ではなく共同・協同の考え方で豊かな大学生活を過ごしてほしいことが話されました。そして、教職員の皆さんに得意な分野で協力してもらいながら大学と生協が有機的に協同と分業を行っていくことが重要とのことでした。

たぐさんの教職員の皆さんに名古屋に来ていただき、大変感激しました。来年もまた会いましょう。

# あなたも教職員委員会へ

去る、8月26日(金)から27日(土)にかけて、名大生協教職員委員会は内海の旅館「はしもと」にて下期方針合宿を行った。毎年2回、2月と8月に下期と上期の活動総括と方針作りの合宿を恒例にしている。今年の夏は台風の上陸数は昨年よりも少ないが多くの台風が発生した。合宿前日も台風11号が伊豆半島に接近していて、26日には東京湾から千葉県に上陸した。この台風の影響で時たま強い風の吹く中13時集合、13時45分名大を出発して、四谷から都市高速に入り、南知多道路を通過して内海には14時30分に到着した。

合宿は毎回1日半の日程で組んできたが、今回は昼出発で翌日の昼間での1日しかない。旅館に着くなり用意していただいた会議用の部屋で早速各自が準備してきた資料を配布して上期総括の議論からスタートした。教職員委員は高齢者が多い。退職した委員の後も補充できず先輩たちが築いてきた委員会の

活動を如何に継続させていくかが課題である。若い職員の方に加わっていただき活気ある委員会活動ができないものかと合宿では毎回感じている。

読者の皆さんで、生協の活動や組合員の文化の向上、レクリエーションを通じた組合員間の交流などに興味のある方はぜひ [kyoshoku-coop.nagoya-u.ac.jp@mail](mailto:kyoshoku-coop.nagoya-u.ac.jp@mail) 一報下さ。一緒に楽しい企画を作っていきたい。

## 教職員委員会の下期活動方針 組織活動

- 加入・増資キャンペーン  
生協強化月間(10月1日～11月30日)に加入・増資キャンペーンを実施し、加入および基本出資金(2万円)まで増資された方には名刺印刷代2千円引き、秋の委員会企画半額ご優待と粗品を進呈。
- 新入組合員歓迎パーティー  
食と健康についての講演会と歓迎パーティー(11月下旬予)
- 総代・組合員懇談会

秋の委員会企画案内、生協店舗の取り組み紹介、理系地区新店舗準備、北部厚生会館1階の全面改装など生協に対する意見・要望を交流します。(10月20日夕、21日昼予定)

○ 利用者懇談会  
各建物毎で開催できるように準備します。開催希望がありましたらご連絡下さい。

## 機関紙活動

かけはしを奇数月に発行し、研究科長インタビューを継続して掲載します。生協からの情報と組合員の交流・情報誌となるよう努めます。

## コーポカルチャーセンター企画

- ハイキングとバーベキュー  
愛知岐阜県境にある東海自然歩道の弥勒山と道樹山に登り地球村でBBQ。(11月3日)
- 音としゃべりの金曜サロン  
「日本の音色を再発見：三味線やそすけライブ」(12月2日)
- 歌声喫茶(未定)
- 文化講演会(検討課題)

## 平和・環境活動

○ 映像で学ぶ「日本国憲法」連続学習会(毎月2・4木曜日)

北部厚生会館2階ゆくとん

○ 「化石山」と日中不再戦の誓いの碑を訪ねて(9月18日)

○ 立命館大学国際平和ミュージアムの見学(9月21日)

○ 平和憲章制定19周年記念企画・憲法講演会(2月3日)

○ 環境講演会(検討課題)

○ フィールドワークリサイクルルートを訪ねて(検討課題)

生協まつり(今年は赤崎記念館建築の関係で中止かな)

○ リンゴ産直販売(予約注文のみ実施予定)

○ 献血(中止)

○ ビデオ上映会「ハウルの動く城」(未定)

○ 赤ちようちん(未定)

## 工場・産地見学

○ 生協みかんの産地見学(11月23日)

## 東海地域センターおよび

### 全国との連帯活動

○ インターカレッジコープ愛知創立総会(10月27日)

○ 東海地域センター教職員活動交流セミナー(12月3日)

と多彩な企画を開催しますので、ご期待下さい。

# 名古屋大学平和憲章エッセイ

## 審査結果

名古屋大学生協では、名古屋大学平和憲章が1987年2月5日に制定されて以来、名古屋大学平和憲章を組合員に広めていく活動に取り組んできました。今年度も昨年に引き続き新入生を初め多くの学生・院生の方々に平和憲章の精神を引き継いでいくことを目的に、5月17日から6月30日までの期間で、名古屋大学平和憲章を読んで、私たちに何ができるか考えましょう。そして平和について考えたこと、感じたことを自らの言葉で表現しましょうと呼びかけ、名古屋大学平和憲章エッセイを募集しました。約1ヶ月の短い期間ではありますが10の作品が寄せられました。ここに審査結果、講評と入選作品を発表いたします。

### 審査結果

入選(1名) 副賞「オキナワの旅」旅費全額援助

石橋歌織(文)

「私と戦争と平和」

佳作(5名) 副賞図書券5000円分

守谷宙(理)

「ナウシカと顔を隠した科学者たち」

丹羽亜衣(情)

「自分を見失いそうなときに」

倉科信吾(経・院)

「『被害者日本』の誤解」

片山友愛(育)

「『Peaceful world』」

澤田英之(法)

「平和とは戦争とは」

### 審査委員からの一言

福家俊朗理事長

名大平和憲章にも言及しつつ、自分が置かれている「世界」や身近な経験を素材にした戦争・平和論が多かったようです。ただ、「戦争状況」を打破し、アクチュアルな恒久平和の実現を希求する構想力があまり見られなかったことは残念でした。

星野香副理事長

昨年と比して、平和憲章を讀んで自分なりに戦争や平和について言及された作品が出てきた

事は評価されます。しかしながら応募数が少なく、佳作作品と言えども審査員の過半数が押しつたわけではない事を、敢えて申し上げます。来年以降は、応募者数が少なくとも数十人になるような企画になれば作品の質もおおのずと向上する事と、期待しています。

箕浦昌之常務理事

名古屋大学平和憲章を讀んで書かれた作品も増え、視点は良くなっているが、全般的にインパクトに弱かった。平和のためには何が必要か、自分で何ができるかに言及した人もいたが、過去や現在の状況認識や課題の設定などにまとめる力の弱さを感じた。

柴田敏之理事

応募があつた十作品を繰り返し読ませていただいた。その中で名古屋大学平和憲章を讀み、自らの考えと重ね合わせて論じたエッセイが増えたことをまず評価したい。

どの作品にもきらりと光る部分があるものの、全体として深まりが乏しかったり、また、評論はあつても自らの課題としてとらえてきていない作品もあつた。今後は、平和憲章を自らの将

来や今後の行動と結びつけて論じた作品を期待したい。それは、18年前に制定された名古屋大学平和憲章が、いまま大学構成員の規範としての輝きと力を失っていないと信ずるからである。

審査委員会では、入選作として「私と戦争と平和」(石橋歌織)を推す意見と、「ナウシカと顔を隠した科学者たち」(守谷宙)を推す意見でほぼ2分した。私は、表現に未熟さはあるものの、成長過程での新たな発見に新鮮な感動を表現した点と、平和を自らの課題として受けとめようとする姿勢に共感して、「私と戦争と平和」を推した。応募された皆さんの今後の活躍に期待したい。河合利秀理事

全般的に、平和憲章を讀んで感じたことや考えたことが多く語られたと思います。自分の体験をとおして、自分の言葉で語られたものもいくつかあり、僕自身は共感できました。しかし同時に、問題の掘り下げは今一步だとも感じました。これからも、大学生らしく、「科学的な歴史認識」や「平和を創造する学問の創設」に迫るものを期待しています。

# 私と戦争と平和

文学部1年 石橋歌織

私が戦争を初めて知ったのはいつだろうか。このエッセイを書くにあたり、私はふと疑問に思った。戦争に関する記憶で最も古いものは、昔母に読んでもらった物語だ。その物語は、戦争中、海で死んだ少年兵の最後の言葉を魚が母親の元へ届けに行くという話で、少年兵の、母親への愛情に満ちた切ない言葉に私は涙が止まらなかつた。恐らく私はこの物語を通して初めて戦争の悲惨さを知つたのだ。しかし幼い私は当時起こっていた湾岸戦争が、なぜか物語で読んだ悲惨な戦争と同じものとは思ひもしなかつた。

平和について学んだ。高校では歴史でなぜ戦争が起き、現在の世界ができたかを学んだ。またメディアではカンボジアの戦争、難民問題など様々な世界の様子を幾度となく目にしてきた。そのたびに私は二度と戦争が起きるはならないと強く思い、戦後の今が平和であることに安心していた。しかしイラク戦争が始まって初めて『戦後』の今でも戦争が起きているのだという事はつきりと認識させられた。『戦後』とは『第二次世界大戦が終わった後』でしかないのに、『全ての戦争が終わった後』と私は錯覚していたのだ。錯覚に気付いた私は、世界から戦争をなくし、様々な意味を持つ本当の平和を作っていくかなければと思うようになった。

しかし、本当に戦争が終わり、平和な状態と言えるのだろうか。靖国問題での中国との対立や米軍基地問題など、先の大戦の問題は未だに解決しておらず、『戦争途中』の状態だ。世界では私がこの文章を書いている間も、実際に命を奪い合う『戦争中』の国や、今日の食べ物に困る人々がいる。むしろ今が平和でよかつたと思う人々よりも多いのかもしれない。我々はともすれば今までの私のように、今の世界は平和であると錯覚してします。自分の周りだけではなく世界に目を向け、比較的『平和』な状態にいる自分が何か出来ることはないか、と思い始めることが『戦後』の今、大切な事だと思う。

私は大学に入り、ユニセフ班の活動を通して、平和のための様々な活動を知つた。二度と戦争につながる教育や研究をしないと宣言した名古屋大学平和憲章や、生産者に配慮した公平な貿易を目指すフェアトレードなど、自分よりずっと早く世界がまだ平和になりきつていないことに気付く、思いを形にした人々がこんなにもいたことは驚きだった。人間は間違いを直すけれど、それを直すこともできる動物だ。多くの人が同じ人間を敵とみなし、殺しあうという間違いを犯しても、同じほど多くの人がその間違いに気付く、直そうとすることが出来るのだ。私は幼い頃に戦争は間違いだと気づいても、行動することなく平和の中に生きてきた。今、本当の平和とは何かと改めて考え、それを作るために自分が出来ることに気づいたばかりでまだまだ知らない事は多く、何か出来たらと思いつつも形にするのは困難だということに日々気づかされる。しかし、名古屋大学平和憲章のように思いを同じくする人が集まれば、何とか思いを形にすることは出来るのだ。これからの私は自分なりの平和への思いを多くの人に伝え、積極的に行動することで、その思いを平和へとつながる形に変えていきたい。

# 憲法の連続学習会がスタート

名古屋大学平和憲章委員会では憲章の精神に則り、ビデオ「映像で語るわたしたちの日本国憲法」を中心とした連続学習会を企画しました。

この学習会は、9月から、毎月第二と第四の木曜日に行うこととし、すでに2回実施しました。この学習会で教材として用いる、ビデオ「映像で語るわたしたちの日本国憲法」とは、10



年前に、憲法施行後50年の歴史・

現状・課題を確かに記録し、現代に生きるさまざまな人の声をまじえて構成され、杉原泰雄（一橋大学名誉教授、駿河台大学法学部教授、憲法学者）さんを中心とした教授陣と製作チームが協力して作ったものです。

俳優の永島敏行が案内役をつとめ、わたしたちの視点にたつて憲法を考えます。各巻それぞれ、の専門家が憲法上のポイントを解説。さらに、メインゲストによる意見、及び各界著名人の幅広いコメントなども取り上げてまとめられています。ビデオは一巻45分の構成になっているので、毎回各2巻を上映し、意見交流を行う形式で学習会を実施しています。丁度夕食時なので、生協で夕食を食べる方は是非ゆくとんを覗いて見て下さい。

## 第一回 OVERVIEW

第一巻「日本国憲法の成り立ち」では日本がポツダム宣言を受け入れて無条件降伏するとこ

ろから始まり、戦争責任、マッカーサーの自由の指令、憲法制定会議での議論、憲法制定の意義が語られました。

日本国憲法がなぜ軍隊の放棄を明記したかがよくわかりました。一切の軍隊を放棄し、二度と戦争をしないと誓わない限りは、日本が再び国際社会に認められることはあり得ない。日本人がこの誓いを立てたことで、世界の人びとに認知され、今も日本が存在するのです。

第二巻「憲法の基本原理」では、前文に書かれている憲法の理念が、単に日本のみならず、人類の理想と目標であることが述べられています。わたしたちの憲法は単に日本人のみならず、人類の英知の結晶であることを、改めて知ることができました。この巻では、宇宙飛行士の向井千秋さんがゲストで登場し平和を訴えていましたが、名古屋大学にも縁のある彼女がこのようにビデオで主張していることにとっても驚いたと同時に、心強く思いました。このあと、どのような人がゲストに出てくるか非常に楽しみます。

## 第二回 9月22日

第三巻「天皇制について」では、無条件降伏以後、占領軍が日本人の人心をあつめる手段として天皇制を利用した経緯が述べられ、そのために昭和天皇の戦争責任がうやむやにされたことが明らかにされました。このことは日本の戦後の歴史に大きな影響を与えていくのですが、明治憲法の立憲君主制の流れを汲む条項が残存し、主権在民の憲法理念と矛盾する問題を理解するのに役立ちます。

第四巻「戦争の放棄とは」において第一巻で示された世界史に於ける日本の歴史認識で、日本人が国家を営む理念として「戦争放棄」を誓わない限り、国際社会に認められないということが当時の日本人の共通した認識であることがよくわかりました。今日の日本の経済発展はこうした国際社会に対する誓約があったからこそ成り立ったものであって、この前提を崩す憲法改悪は、自暴自棄としか言いようのない愚行であることを再確認しました。



## 映像で学ぶ「日本国憲法」連続学習会参加者の感想

### 9月8日感想（4名分・参加者8人）

- 1、本日の企画を何で知りましたか。ピラ・ポスター(1)、メール(2)、通りがかり(1)
- 2、名大平和憲章について知っている(2)、名前だけ(2)
- 3、本日の企画は如何でしたか  
 ・押しつけ憲法でないことがわかった。戦争責任の問題は満腹です。  
 ・久しぶりに憲法の中身を読みました。中学の授業を思い出しました。  
 ・なぜ永島敏行がインタビューなのでしょう？  
 場所的には、人が通るのでいいんですが……。
- 4、次回も参加したいですか  
 ・ぜひ参加したい(1)、友達を誘って参加したい(1)、どちらとも言えない(2)
- 5、今後期待すること  
 ・また、来たら来たいです。  
 ・憲法の中身をすべて読むことはないし、習ってもしないのひと通り内容を知れたらいいと思います。  
 ・先のNHKでやったアウシュビッツを一部入れるとか今日の映画でやっていた日本国内の戦争責任と侵略したアジア諸国に対する戦争責任を当事者が反省しないままになって時代がすすんでしまったこと、このことはナチスの戦後処理やフランスの市民革命と対比させる必要があると思う。
- 6、平和憲章委員会に一言  
 ・ご苦勞様です。  
 ・いま「こんばんは」(夜間中学ドキュメント)の上映運動もやってるし、「父と暮らせば」も一度見たいので、たまに少し大きめの企画としてやってもいいかも知れませんか。

別の話で申し訳なしが原水協、平和委員会、愛知県学生自治会、新栄書店が入っています。

た新栄の事務所が4階建てに立て直すので募金して下さい。工事進行中。

### 9月22日感想（3名分・参加者5人）

- 1、本日の企画を何で知りましたか。メール(1)、知人友人(1)
  - 2、名大平和憲章について知ってる(3)
  - 3、本日の企画は如何でしたか  
 ・戦争の放棄に関する二本目の映像で、戦争の放棄に反対する意見がなかったのが気になります。が、メッセージはよく伝わったように思います。
  - 4、次回も参加したいですか  
 ・ぜひ参加したい(1)、友達を誘って参加したい(1)、どちらとも言えない(1)
  - 5、今後期待すること  
 ・理念のしっかりした裏付け(今回の足りなかった、という訳ではありませんが)それが、この映像の特色だと思うので。
  - 6、平和憲章委員会に一言  
 ・理想と現実との距離を確かめたい。  
 ・詳しく勉強できました。今後も続けて見たい。
- 9月8日感想(4名分・参加者8人)の続き
- ・戦争責任、ポツダム宣言受諾から日本国憲法の成立の過程がわかりやすかった。第9条に関しては戦争と平和に関する国際的な当時の世論と国際協定が反映されたものと思う。
- ・別の話で申し訳なしが原水協、平和委員会、愛知県学生自治会、新栄書店が入っています。
- ・新しい憲法のはなし」を高校の時に読んで、「何故、今これを使っていないの」と思った覚えがある。「理想」は現実になっただけから理想なのであって、変えるのであれば理想が現実になった時初めて変えてもよいものだと思う。
- ・第九条は国内問題ではなくアジアの問題といていたのに共感した。映画日本国憲法でも日高氏が述べていた。
- ・何かお手伝いができれば、と追います。
- ・がんばって下さい。戦後60年、被爆60年の何か良い企画

# 大学生協東海地域センター企画オキナワの旅

## オキ旅感想

全学技術センター 河合利秀

名古屋大学から参加した2名も合わせ、総勢31名、夏のオキナワを思いっきり体験できた2005オキタビを紹介します。



### ・プロローグ

今回は人工灯火の少ない離島（水納島、ミンナジマと読む）に行く予定なので、頑張つて赤道儀と小型望遠鏡を持参することにしました。丁度離島に行く日は新月で、天気さえ良ければ天の川が肉眼で見えるし、星野（星座のような広い範囲を「星野」という）写真撮影が可能だと考えたからです。こうした機材は20kgにもなりますが、きれいな星空を記録できる魅力にはかえられません。

しかし、残念なことです。台風13号が僕の希望を打ち砕いてしまいました。

水納島へは出発のミーティングで断念との報。実際に本部（モトブと読む）のホテル屋上で何とか望遠鏡と赤道儀を出したものの、台風の影響で次々に流れてくる雲に阻まれ、上空にはう

す雲が広がって、天の川を含んだ星野写真は撮れませんでした。アンドロメダ大星雲を小型望遠鏡で捉えることができたのが唯一の救いとなりました。270万年前に星雲を発した光が、今我々の網膜に届いている。接眼レンズのなかにぼんやりと白く見える光芒に、宇宙の広さを感じます。

### ・沖縄戦跡と基地

二日目、南部戦線をめぐる旅では、しらゆり学徒隊記念館の展示が強く印象に残りました。最近リニューアルされた展示は、新しく発掘された資料もあり、語り部のかたの静かな声に、心が揺さぶられました。

魂魄の塔では、改めてここで亡くなられた方々の冥福を祈らずにはいられません。悲惨な最期を想像し、しらゆりの証言ともあわせると、目の前にその情景が見えてくるようです。僕は一緒に参加した学生さんたち、「しらゆり部隊」と「月桃の花」の映画を見てもうらえればその惨状がもつとリアルに感じ

られるであろうと思いました。嘉手納の基地は台風の影響もあって、静寂そのものです。それでも帰る寸前にF15が耳を劈く爆音を聞かせてくれました。F15は離陸した直後音速に達するように、爆音が一瞬爆発音のように急激に大きくなります。もし晴天であれば、ひっきりなしに離着が繰り返され、我々は耳を塞いでいたことでしょう。

基地の間近まで民家が密集しているのに、基地の中は広大でした。国家権力で土地を取り上げ続けていることにも怒りを覚えますが、さしたる産業のない沖縄で基地関係の雇用は大きく、基地を無くせと言うことが単純でないことも思い知らされます。理想と現実の狭間で苦悩する沖縄について、僕たちはもつと多くのことを知る必要があると思います。

### ・ちゅらみ水族館

三日目からは沖縄の魅力を満喫するスケジュールです。沖縄に来たら是非とも「ちゅらみ水族館」を見てほしい。ここ



は僕のお気に入り場所です。とにかく心が癒されます。僕はここに一日中いても退屈しないと思います。

入り口にあるヒトデやなまこなどを直接手で触れるコーナーは、思いのほか人気があります。なまこの触感は思った通りこんにゃくのようなのですが、ヒトデは

以外にも柔らかく、思っていた感触と少し違いました。小さい子ども達や若い女性が結構平気で触っているのは、雰囲気でしょうか？ 周りのおなじような人が平気で触っているところを見て、安心して触っているようです。これが自分一人だったら、きつと気持ち悪いという思いが先立って、触ることができないでしょう。人間らしい好奇心を満たしてくれる、貴重な展示だと思います。

ちゅらみ水族館の自慢は東洋一の規模を誇る大型水槽です。この水槽には5mもあるジンベイザメや翼幅2mに達するマンタが悠然と回遊し、下から見上げる水槽の構造は自分が海中にいるかのような錯覚さえ覚えます。大形の魚たちにも圧倒されますが、一緒に入っている小さな様々な生き物にも個性があって、みなそれぞれ水槽という限られたスペースではあるが一生懸命生きている・・・そんな姿を、たくさん見つけることができます。

### ・沖縄料理

沖縄に来て、一番の楽しみは沖縄料理であると言っても過言ではないでしょう。僕たちはオキタビの最中、夕食では沖縄料理を堪能しました。

沖縄料理のお店はたくさんあって、ライブハウスや郷土芸能とセットになったところも楽しい時間を過ごせます。料金も手頃で、こちらでオキナワにはまってしまいう人も多いと思います。沖縄そば、ソーキ、ラフテー、チャンプルー、グルクンの唐揚げ、島豆腐とスクガラス、島ラッキョウ、トウフヨウ、タコライス・・・こうして挙げていくとさきがありません。米軍基地がある関係で、沖縄はステーキも大変美味しい。米国スタイルではなく日本人好みに調理された角切りステーキをホテルのバイキングで戴きましたが、とても美味しいものでした。

そして、やっぱりオリオンビールを忘れてはいけません。数年前からの沖縄ブームでオリオンビールも名古屋で買えますが、やっぱり沖縄で飲むオリオン



### ビールが一番。

沖縄料理の体験企画はとても面白いものでした。最初、「おばあ」が教えてくれる・・・ということでしたが、実際行ってみると「おばあ」では失礼、「ねえねえ」達（これは僕の年齢が高いためかな）、お孫さんがいると言っていたので、やっぱり「おばあ」かなとです。以外に塩気の多い味付けですが、沖縄だとこれが気にならない。暑いので汗が出る。塩気を取ることは大切なんです。ゴーヤチャンプルー、ウミブドウ、サーターアン



ダギーなどを作り、あらかじめ用意されたジューシー（沖縄風炊き込みご飯）とともに美味しくいただきました。

#### ・沖縄の海を泳ぐ

4日目は台風の影響がなくなったので水納島に行くことに

なりました。日帰りですが、スキューバダイビングもできるし、もちろんシュノーケリングもOK。これは大学生協東海地域センターの今井さんが何とか離島の海遊びを体験してもらおうと奮闘された結果です。このスケジュールが示されたとき、参加者から大きな拍手が起りました。全く、ご苦労様としか言いようがありません。

実は、僕は沖縄の海で泳ぐのは初めてでした。もう10回以上も沖縄に来ているのに一回も泳いだことがない。泳ぐのが苦手であるということもありますが、その魅力をあまり感じていなかったのです。

しかし、しかし、すばらしい!!

なぜもつと早く沖縄の海を泳がなかったのだろうか！と後悔しまくりの数時間でした。

目の前に、大きな魚たちが悠悠と泳ぐ・・・アジ、サヨリ、ボラ、ダツなどは群れをなし、手の届

きそうな距離まで、わざわざ僕の前を選んでくれるのでは？と思うほど、絡むように泳いでいます。小さなさんご礁には、スズメダイ、キンチャクダイ、ペラ、ブダイ、チヨウチヨウウオ、ニザダイの仲間が見え隠れしている。

砂浜に点在する珊瑚礁は小さいので小型の魚しか寄りついていないようです。目が慣れてくると、砂浜に潜む魚たちが見えてきます。海底の砂を探りながら移動しているヒメジの仲間を見つけ、それを追っていくと、ハゼ、トラギス、ガルマガティ、シタピラメなど、他の魚たちを見つけることができました。

泳ぎながら数えてみると、20種類以上の魚たちがいる。とにかくその種類の多さは驚きです。僕自身も魚になつたような気分です。自分で揺られ、しばし気持ちのよい時間を過ごすことができました。

・エピソード  
オキタビの最後は自由行動ですが、僕はここで釣りを試みたところ、人生の大半の運を使い

果たしたのではないかと思われる思わぬ釣果（68cmのソウシハギを釣り上げる）に恵まれました。これについてはまた別稿で報告します。

最初に紹介した星野写真撮影は、オキタビ最後の夜にもう一度トライしましたが、残念ながら両方とも良い写真に恵まれませんでした。こちらは再度挑戦したいと思います。

沖縄からの帰り、僕は那覇空港でソーキソバを食べます。これは僕の沖縄との行き来で習慣付いた行動なのですが、これが結構美味しい。オキタビの締めとして相応しく思います。

台風13号で出発前からスケジュール変更となり、さらに14号で帰途を心配しなければならぬ状況でしたが、無事名古屋に帰ることができました。大学生協東海地域センターの今井さんはじめ、主催者の皆さんの連日の交渉のおかげで、台風によるスケジュール変更も何のその、大いに学び大いに楽しむことができました。皆さんの奮闘に改めて御礼申し上げます。

# 梅雨明け十日

以前はこの言葉をよく聞いたものだ。私の記憶では、名古屋では大抵は七月十五日前後に梅雨が明け、それまでとは違って変わって、真夏の太陽がきらきらと照りつけた。

こんなことをよく覚えていたのは、その頃、学区の戦争犠牲者の追悼式が新盆の七月十五日に営まれ、法要後にその年の初物だった西瓜を食べた思い出と共にあるからだ。この慰霊の法要自体は昭和五十三年だったかに、三十三回を期して、名古屋駅前近くに民家がほとんど無くなったこともあり、それを営む学区の坊さん達の高齢化もあって中止になった。ともあれ、その法要の資金のために七月始めから一週間くらい、学区を托鉢し、いつも、梅雨末期の大雨にたたられた事とともに記憶に残っている。

それはともかくとして、梅雨が明けたら最後、暫くはかんかん照りが続き、殆ど一滴の雨も降らない、雲さえ無いという安定

した天気だった。夏休みを待ちかねた子供が、休みと共にプールに殺到、楽しい思い出。大学生の頃は、この安定した天候を当てに長期の旅行をした。台風でも来れば別だが、そうでない限り雨には遭わない。

ところが、今年の天候はどうだ。何も今年にも限らない。もうここ何年来、こういう梅雨明けがない。気象台も梅雨明け宣言をしたがらない。しても、「梅雨が明けたと思われる」などと歯切れが悪い。一旦出した梅雨明け宣言を取り消したことが多があつてこうなつたのだろう。昔は、佐藤栄作首相に悪い物を食べた気象台に向かつて「気象台、気象台」と手を合わせて祈れば食あたりもしないなどからかわれてた気象台でも、梅雨明け宣言が外れたことはなかつたように思う。

そして、八月十五日の盆過ぎには虫の音と共に、曇天が続き、重苦しい夏休みの終盤を迎えたものだった。しかし、今年はどうも様子が違つていた。台風も

随分早くから、又矢継ぎ早に来る。

この頃は異常が普通になつてしまつたから、従来の経験も通じないのだろう。その実、昔はなかつた気象衛星から送られて来る写真で、素人でも大方の予想は付くのである。こういう、長年の経験から出た言葉が通じなくなつてきたこと、各地の局地的集中豪雨や乾燥、こういう

# 偉業の達成

異常気象は自然の営為もあるが人間の所行が影響していることが大きい気がする。折しも、アメリカでハリケーンカトリーヌが上陸、何十万人にも上る人々に避難命令が出た。イラクには強硬なブッシュ大統領にも何ともならない。大統領が非難を呼びかけている光景は奇妙に新鮮に映つた。(T)

駒沢大学附属苫小牧高校が夏の甲子園で2連覇を遂げた。その折りのインタビューでそのキャプテンが「夏の甲子園で2連覇の偉業を成し遂げた」ということを言つていた。引用は正確ではないかも知れないが、確かに、この主将の口から「偉業をなしどけた」という言葉が出ていた。これを聞いて私は違和感を持った。皆さんどうなんでしょう。以前、同じような場面で「浮き足立つ」という言葉を奇妙な使い方をしていたのを思い出す。たしか、これを「調子に乗る」といった意味で使つて

いた。

「偉業」というのも、私の感覚では、他から連覇を成し遂げた彼らに向かつて誉め言葉として「偉業を成し遂げた」と言うのだと思つてゐる。

かの主将は、それを知つていて、最近では、自分のことは自分で評価しなければならぬ、人の評価など待つておれないと言ふのだろうか。そうではなからうとは思ふ。稚氣愛すべしと言ふべきか。詰まらぬ言葉とがめをしたくはない。それでも、言葉はなるべく正確に使うことを勧めたい。国語の勉強もして欲しい。(T)

# 瑞浪・中国人殉難者慰霊祭

9/18

9月18日、中国人殉難者瑞浪市供養会の主催で、中国人殉難者慰霊祭が執り行われ、教職員委員会メンバー3名と留学生委員会から中国人留学生2名と一緒に参加しました。

今回は平和憲章委員会との共同企画ということで広く参加を呼びかけましたが、夏休み期間ということや呼びかけの時間が短かったこともあって、宣伝が十分行き届きませんでした。何人かの学生からこの催し物に参加したいと言われていたのですが、連絡がとれず、結局のところ学生の参加を得られませんでした。

たいへん良い内容の催しだったので、来年はもっと早くから企画を練り、大きく宣伝し、たくさんの方の参加を得られるようにしたいと思っています。

慰霊祭に先立って、柴田さんの案内で壕の中を見学しました。瑞浪市は、地元の方々にも壕を見学してもらって、日中不再戦

の誓いを新たにしておらおうという主旨で、慰霊祭の前に地下壕の見学会も実施しています。受付にいくと、記帳し、しっかりと資料を手渡されます。ここでヘルメットと懐中電灯を借りて、地下壕に入ります。

地下壕の入り口に立つと、冷たく湿った風が吹いてきて、涼しいというよりは寒さを感じます。二人の留学生は日中友好協会のひとから慰霊祭についての説明を受けたようで、空襲で被害を受けない地下軍事工場を建設するための地下壕のことも知っていました。

地下壕の中では、爆薬を仕掛ける穴もそのまま残されており、まともな道具も無かったことからこれらの作業が如何に大変だったかが伺われました。

今年の慰霊祭の特徴は、昨今の厳しさを増す日中関係の中で、これまで以上に人的な広がりや深みのある取り組みであったことです。

今年も中京女子大学からも教員と留学生が数人参加しており、運動の広がりを感じました。

今回も瑞浪市長が自ら参加され、たいへん立派な追悼の言葉を述べられました。中国大使館からは参事官と書記官が公式参加されており、瑞浪市長の参加と相まって、市の公式行事としても格の高い催しであることがわかりました。特に最近日中間が難しい状況になっていることを考えると、極めて真摯な姿勢であると思います。

瑞浪市長の追悼の言葉の端々には今のような政府の歴史認識や靖国問題に対する考え方は真の友好は難しいとの批判がこめられており、参事官の言葉からも同様の批判とともに瑞浪市の変わらぬ姿勢に対する信頼が述べられました。名大から参加した留学生には中国人留学生代表として挨拶もしてもらいました。

僕たちと一緒に参加した2名の中国人留学生は、瑞浪の人びとが礼をつくして殉難者を慰霊していることにたいへん感動したようです。参加者の全員が読

経の中を焼香する様子は、宗教の習慣がない若い中国人にとっても非常に感動的だったようです。彼らは中国に帰ったらこの催しのことを伝えたいと語っていました。

歴史認識で揺れる時期だけに新聞各社が取材に来ていましたが、それにしても、同伴した中国人留学生に対し攻撃的な質問を浴びせる若手記者(A新聞)には閉口しました。他社の記者の姿勢は概ね好意的だったのに対し、ひととき目立ちました。

日本がこのような状況に立ち至った元凶に、大政翼賛的ジャーナリズムの存在がある！今回は彼らの取材姿勢にそれを感じました。他社の記事も、結局のところ、2名の中国人留学生の感動は記事にならないだろうと思われました。地元の岐阜新聞などのように掲載されたか知りたいたいと思いました。

最後に、僕のデジカメが故障していて、折角撮った写真もデータが壊れてしまいました。この報告に写真を貼付できないことをお詫びします。

(文責・河合利秀)

# ニュースに一喝!

## 犬は手に載せて食べるか

8月5日の中日夕刊に「『食べるのが遅い』素手で給食』という見出しの記事(17頁)の中に「食べ物を手のひらに載せ」犬のように(警告書)食べさせた」という記事があった。これは、ラジオでもこの部分が放送されたらしい。私自身は聞いていないが、それを聞いた人がいて、この文章を書いた人の意図とセンスを疑うと、大変な憤慨だった。特に「犬のように」というところを問題視していた。

この文章は巧妙にその責任を回避してある。「犬のように」は鳥取県弁護士会の警告書の引用であるから、直接の文責は弁護士会にあることになる。しかし、これを引用し掲載した責任は記者と新聞社にある。新聞社に問い合わせようと思ったが、当時時間が無く、いまとなつては時宜を失っているので、その真意は問い合わせてない。

今回、インドネシアを十日間ほど訪問した。大学の車の運転

手と食事をするこゝがあつた。彼はまさに、右手で飯と汁物を混ぜ、うまく口に運んでいた。以前、スラバヤ国立大学の学長にごちそうになつた時には、学長先生もそうしていた。友達の子供も皆そうする。汚れた手はフィンガーボールの水で洗う。

## ハリケーンと台風

今年、日本や台湾、フィリピンなどを襲う台風のニュースだけでなく、アメリカ大陸を襲うハリケーンのニュースがよく聞かれる。ハリケーンと台風とは別物だと思つていた人々も、よくやく同じ熱帯性低気圧の凄い奴で、名前が違うだけということとを納得したみたいだ(もともと、その認定規模は違うようだが)。

ルイジアナ州ニューオーリンズを襲つたハリケーンカトリーナ、又、その後、テキサス州を襲つたハリケーンリタ、その被

それでどういふ事はない。箸やナイフ・フォークを使うばかりが食事の方法ではない。インドネシアでも箸はかなり普及している。ナイフもフォークもスプーンも使う。いろいろな食べ方がある。これは文化であるから何が良く何が良くないという事ではない。

翻つて、この新聞記事を見ると、読み方によれば、犬が文句を言うことはあるまいが、直接手で食事をする人達を冒瀆することにもなりかねない。公器である新聞では、この「犬のように」という部分は削除すべきではなかつたか。(田 2005.8.29記)

害の惨状は並大抵な物ではない。ただ、被害地で、暴動が起こつたり、略奪が起こるといふことは、火災まで発生するといふことは、日本での災害の後と一風違つたところだ。

折しも、日本は台風14号に襲われていた。稀に見る大型の台風、日本全土がすっぽり入つてしまうほどの大きさ、台風が山陰沖にいた時から、この名古屋でも凄い雨風だった。東京なども大変な豪雨に見舞われた。四国の早明浦ダムは貯水率0%だったのが、100%になつた

というのだから凄さが分かる。中部国際空港に着く飛行機も、台風が遥か西の海上にいる時から、着陸を躊躇し、上空を何回も旋回、成田に行こうかどうしようかと迷つていたそう。被害も広範囲に渡つた。

台風の大規模の原因として海水温の上昇が指摘されている。海水温が28度以上あると台風は成長し続けるそう。台風の影響はさう太平洋も、ハリケーンの影響もあつたそう。地球温暖化の影響を否定する専門家もいるが、一方、早や温暖化のせいかもしれないという専門家もいる。素人判断ではやっぱりという思ひである。

アメリカからの報道は、被害の救済が後手後手に回つたことから大統領が非難されているといふニュースが伝わる。それもさもありなんと思ふが、その中に、地球温暖化にアメリカが最も手を貸しているといふこと、その防止に真剣に取り組まなければならぬといふ論調はある。残念ながら我々の耳には伝わってこない。今からでも遅くないが、今を失しては取り返しがつかなくなる恐れもある。早く、温暖化防止の取り組みに加わるべきであると思ふ。(田 2005.9.25記)

# 富山での日本植物学会に出席して

情報科学研究科 広木詔三

ガラスのドアを開けると、中は薄暗い。オレンジ色の電球がかすかに店内を照らしている。奥に進むと、通りに面して全面ガラス張りになっている。ガラスの向こうには真昼の明るい通りが見える。

古風な造りのテーブルをはさんだ二つの一方の椅子に腰をおろし、アメリカンを注文する。読みかけの本のつづきを読みはじめる。話題のステイヴ・ピンカーの "The Language Instinct" である。暗くて文字が読みにくい。文字が読みにくいのは、年のせいもある。最近とみに明るくないと文字が読めない。外は明るいのに、部屋の中は薄暗い。本を読むのを諦めると、周囲の年配のご婦人の方の声が聞こえてくる。よもやま話をしていくのだが、不思議と気にならない。

い。オレンジ色の照明が店内を区切っているような感じがする。小池直人氏の『デンマークを探る』に、デンマークでは室内が薄暗いのが特徴だとある。この店の薄暗さはまさしくデンマークそのものだ。

本を読むのを諦めると、いろいろな考えが浮かんでくる。そう、このことをかけはしに書く。そういう考えも浮かんだ。富山に来たのは何年ぶりなのだろう。富山城が存在するなんて夢にもおもわなかった。ガラスに面した席を占めていた女性が席を立って店を出て行く。入れ替わって一人の男がその空いた席に座る。落ち着いた雰囲気の中で、ゆったりと考えることが出来る。ピンカーは言語学者として有名だ。本を読めばそれも納得す

る。ピンカーはチンパンジーの手話には文法がないと指摘している。私はこれまでチンパンジーには言語の能力があると信じていたのだった。ピンカーは、ノーム・チョムスキーの普遍文法を信じており、チョムスキーがとどまったところから先に進もうとしている。左脳のブローカー領やウエルニツケ領が言語に関わっていることはよく知られているが、どのようにして文法が生じるかはまだ分かっていないようだ。

そうそう、むかし富山に来たときは雪が積もっていたな。出されたアメリカンにはほとんど手をつけずに、いろいろな想いに耽った。しかし、この店の雰囲気は何とも言えない。ここには落ち着いた時間と空間がある。こういうところで論文を書きたいな。このところ投稿中の論文で四苦八苦しているのだ。私の研究室には、採点してまだ間もない学生のレポートが散在している。私の日常は、毎日何らかの事務的な仕事に追われ、研

究に注意を集中しにくい。

この喫茶店を出るときに気づいたのだが、外から見ると店内がほとんど見えない。うっかりすると喫茶店であることを見逃してしまいそうなほどである。富山では駅の構内やホテルのロビー以外に喫茶店をほとんど見かけない。名古屋とは大違いである。名古屋にもシックなつくりの店はそれなりにあるが、この喫茶店と比べるとかなり明るい。そういうえば店の名前も気づかないでしまった。この店の常連は目立った看板がなくとも、店の存在を知っているのである。

九月二十一日の早朝に名古屋を発って、富山に向かった。富山大学で開かれている日本植物学会に出席するためである。昼前に富山駅に着き、二十一日の午後のセッションにぎりぎり間に合った。「宇宙植物学の最前線」というタイトルのシンポジウムが予定されているのだった。アミノプラスチックというデンブンに類似した物質が重力を感じる働



きをするにはすでに知られていた。講演を聴くと、オーキシンというホルモンを通したり通さなかつたりするタンパク質を合成する遺伝子群が続々と発見されているという。分子生物学の発展のきわみだ。しかし、残念ながらアミノプラストが感じた重力の情報がどのように遺伝子の発現に関わっているかまだ謎のままだという。正直なところ、がっかりした。東海地方の「モンゴリナラ」は、土の中で根を斜めに伸ばす。少しばかり重力に逆らうようなのだ。そのメカニズムが解明されているかと期待していたのだが、それは期待はずれだった。

「宇宙植物学の最前線」では、青森県六ヶ所村で莫大な研究費を費やして宇宙空間で人間が存在しうる生態系のシステムを解明しようとしているそうだが、地上での地道な研究がおろそかにされているような気がしないでもない。シンポジウム以外でも感じたことだが、遺伝子レベルの研究発表が目についた。遺

伝子レベルの研究が飛躍的に発展したこと自体は大いに評価すべきことだが、日本植物学会が遺伝子一辺倒になってしまふことは、生物学の発展にとって必ずしも望ましいことではない。しかしながら、科学の発展というものは、いつの時代でも流行があるものだ。

二日目は、日本植物学会のさまざまな賞の受賞講演や総会あるいはポスター発表が予定されていた。私はどれにも参加しなかった。若い頃に学会に参加したときは、夜ごとの集会にはほとんど出席したものだった。現在は、いちどきに得る情報量が多いと、すべて一緒に忘れてしまう危険性が高い。薬に頼る生活は、研究者にとって命取りになりかねない。

二日目は市内を散策することにした。夜の懇親会までだいぶ時間がある。昨日、富山駅から富山大学行きのバスに乗った。その途中で、富山城があるのに気づいたのだった。それは小さな城で、堀には水があり、周囲は公

園になっている。その裏手に沿って、川が流れている。川幅は狭く、川に沿った小道にはさまざまな彫刻や銅像が間隔をおいて立っている。かつて見た雪景色と小川の記憶が脳裏に浮かんだ。残念ながら、そのなじみのある風景とは裏腹に、現実の川は富栄養化していて臭いにおいを放っている。

城のある公園の一面に図書館があった。時間をもてあましていたので入ってみることにした。雑誌閲覧室で週刊金曜日を手にとった。イラクで戦死した兵士の母親シンディ・シーハンが、全米に反戦運動の影響を及ぼしているという記事を目にした。名古屋大学の情報化学部にも週刊金曜日は備えてあるが、日常生活では手にとって見ようというゆとりがない。

先ほどの喫茶店を見いだしたのはこの図書館を出たあとのことであつた。さいしよ富山には喫茶店が存在しないのかと思つた。富山城の周辺を歩き回つても、食堂以外には何も見つから

なかつた。喫茶店だけでなく、若者の姿を見かけない。東京の新宿や池袋などと比較すると、天地の差である。富山には若い人は存在しないかのようでもある。そのように感じたのは、先ほどの喫茶店の客層が年配の人ばかりであつたという事実の影響を強く受けたせいかも知れない。

いよいよ待ちに待った懇親会の時間である。乾杯が済むと、私は当初の目的を果たすべく、鳴橋先生を探した。現在論文を投稿中の植物地理・分類学の編集長である。鳴橋先生は現地の富山大学の方で、刺身が新鮮でおいしいことや、氷見うどんという当地の名物について教えていただいた。

三日目の最終日、朝一番の講演にベイリアン・トレンドの話があつた。被子植物の導管の起源に関する仮説を化石で実証したという報告である。詳しい内容はまた別の機会に紹介したい。特急しらすぎで名古屋に着くと、研究室に直行し、かけはしの原稿を書かねばならない。

## 特集は読みごたえがあった

★松田先生の特集はかなり読みごたえがあった。生協のイベントでまだまだ知らないものがたくさんあるな、と感じた。【AL】

## インタビュ興味深かった

★松田先生のインタビュが興味深かったです。充実してますね。【水道】

## 大変参考になった

★私も生命農学研究科なので松田先生のインタビュは大変参考になりました。【森乙生】

## 結構危険ですよ

★エスカレーターって、本来は歩く結構危険な物なんですよね。勾配がかなり急で階段みたいな踊り場がないから、転落すると下まで行ってしまふ。一段一段の段差が結構あり、かつ最初と最後は段差が動的に変化する。また、大勢の人が一斉に歩くと機械にはかなりの負荷でして、

あまり大きな振動を与えると緊急停止するので、それでバランスを失って怪我をするという可能性もある。皆さん、何気なくエスカレーター駆け上ってたりしますが、安全面から言ったら「歩いたり、走ったりせず、手すりになんとつかまる」のが一番ですよ。【ナンバー6】

## 安全のためだと思います

★魔言について、エスカレーターでの歩行を禁止するのは、特に子供が乗り口や降り口で転んだりしないようにという意味で、(一応)安全のためだと思いますけど。【だるまおとし】

## 歩いてはいけない

★エスカレーターの上をなぜ歩いてはいけないのかわからないのですが、答えは「危険だから」です。エスカレーターでの事故は軽微なものも含めると年間何万件もあると言われているのに、回転扉と違って危険性はあまり知られていませんから。急いでいるのであれば、エスカレーターの隣に設置されている階段を使えばいいのに。なぜ狭

くて通りにくく、また動いていて歩きにくいエスカレーター上を、自分だけでなく他人までも危険にさらしながら人をかき分け歩こうとするのか理解に苦しみます。【三】

## じつとするなどは無理

★P14のエスカレーターの話：某新聞の投書欄に以前、「エスカレーターでは歩くな、と掲示があるし、何かがあってからでは危ないから歩くな」と中学生男子(一)の意見が載っていたの思い出した。もともたとは思わうが、これに共感し、忠実に守る人は子連れ、お年寄りや妊婦の方以外ではほとんどいないだろう。地下鉄・電車通学をすれば明らかだ。歩き専用のエスカレーターでも作らない限り、歩かずに2列に並んでじつとするなどというのは無理な話ではないか。【231】

## 魔言もおもしろい

★ニュースに一喝がおもしろかった。言魔(?)も何気ない日常の出来事に対する見解がおもしろかった。【南正大】

ニュースに一喝面白かった  
★ニュースに一喝!のコーナーが非常に面白かった【篠原信仁】

## それなりに楽しめた

★ばつと見た感じ、読む気にならないというのが正直な感想。読んでみると、様々なジャンルのお話があつてそれなりに楽しめました。【まーくん】

## 自分の専門外が良かった

★かけはしを今月号ではじめて読みました。いろいろな話題が載せられていて非常に興味深かったです。特に自分の専門以外の方の話が載せられていて良かったです。【おしょう】

## ピアガーデン行きました

★ピアガーデン行きましたよ。来年も行こうと思います。初めて出しますが、クイズとっても簡単ですね。【k@z】

## クイズがおもしろい

★始めてピククロスをやってみたが、おもしろいと思った。これからも頭を使うような問題をどんどん作ってください!!(\*、\*、\*)

【光安皓】

意見と通信

料理レシピを載せて

★料理のレシピを載せたらどうでしょうか？特に、旬の素材を使った料理。忙しい人のために、すぐできるレシピもいいですね。  
【まーくん】

解答は3分12秒

★今月のロジックの解答時間は3分12秒。前回よりかは少しは難易度が上がってるけど・・・  
【ナンバー6】

SSLにしたほうがよい

★SSL通信可能にしたほうがよろしいんじゃないでしょうか？いろいろと社会的にも問題になってきているようですし。  
【k@z】

生協の情報を増やして

★生協に関する情報をもう少し増やして欲しい。  
【篠原信仁】

農学部購買の時間延長を

★農学部購買の閉店時間をもう少し遅らせて欲しい。14:00だと、3限後に買い物にいけない困る。  
【AL】

味があって好きでした

★理系中華食堂が閉店し、取り壊されてしまうようです。ああいう古い建物には何か味があって好きだったのですが・・・  
【だるまおとし】

知名度を上げる工夫が必要

★かけはしの知名度が低くみんなに知れ渡っていないことが問題であると思います。もう少し認知度を上げる工夫が必要であると思います。  
【おしょう】

難しいと交流が減る？

★・・・クイズが難しく交流が減る・・・ということは考えにくいかと。  
【231】

クイズのサイズを大きくして

★イラストロジックのサイズを大きくしてほしいです。  
【水道】

生協新施設の紹介

★理系中華食堂が改築され新しくできる生協施設の紹介。  
【JJ】

生協のイベント情報を

★小さなスペースでよいので、生協のイベント情報をもっと掲載されるとうれしいです。  
【森乙生】

教職員委員会活動日誌（2005年7-9月）

月 日	事 項	場 所
7月 1日(金)	役員報酬検討委員会	ゆ〜どん
4日(月)	7月度常任理事会	ゆ〜どん
9-10	全国理事会・全国委員会	東京・杉並
13日(水)	平和憲章エッセイ審査委員会、7月度理事会	フレンドリイ南部食堂
15日(金)	7月度第1回教職員委員会	IBカフェ
21日(木)	平和憲章委員会	名大職組書記局
21日(木)	賃金制度プロジェクト	ゆ〜どん
23-24	東海地域センター教職員セミナー	日本福祉大学
8月 3日(水)	8月度第1回教職員委員会	IBカフェ
8日(月)	8月度常任理事会	フレンドリイ南部食堂
18日(木)	平和憲章委員会	名大職組書記局
19日(金)	全国教職員委員会活動交流会	東山グリーンサロン
22日(月)	8月度第2回教職員委員会	ゆ〜どん
26-27	教職員委員会下期方針合宿	内海旅館「はしもと」
29-9/2	オキナワの旅	沖縄
9月 7日(水)	賃金制度プロジェクト	ゆ〜どん
8日(木)	第1回映像で学ぶ「日本国憲法」連続学習会	ゆ〜どん
12日(月)	9月度第1回教職員委員会	ゆ〜どん
15日(木)	平和憲章委員会	名大職組書記局
18日(日)	瑞浪・中国人殉難者慰霊祭	瑞浪市化石山
22日(木)	第2回映像で学ぶ「日本国憲法」連続学習会	工学部7号館輪講室
26日(月)	9月度理事会	フレンドリイ南部食堂

# 秋のハイキング&バーベキュー —内津峠から愛岐三山へ—

愛岐三山とは愛知県（春日井市）と岐阜県（多治見市）の県境を成す弥勒山（437m）、大谷山（425m）と道樹山（429m）の三山をいいます。今回はこの愛岐三山に登ります。登るといっても低い山ですし、東海自然歩道の山ですから整備された登山道で、手軽に登れてファミリー登山にはもってこいの山です。

愛岐三山登山の後は、多治見市三の倉市民の里「地球村」にて、バーベキューを行います。先発隊が先に準備をしていますので、登山参加者の方は食べるだけになるかも知れません。少し遅めの昼食を「地球村」で摂ってくつろいだ後、名古屋に向けて帰ってきます。途中、希望があれば温泉にも寄りたと思います。

紅葉はじまる秋の愛岐三山に登ってみませんか。

日 程：2005年11月3日（祝・木曜日）

行き先：愛岐三山



（弥勒山・大谷山・道樹山）

参加費用：大人 1,000円、小人 500円

（往復交通費、昼食代、保険料など）

集合場所：名古屋大学駅 9時00分

募集人員：14名

服装・持ち物：ハイキングに適した靴、服装、雨具  
水筒、おやつ、リュック、帽子、手袋等

申し込み：クイズの解答用紙かe-mailで

問い合わせ先：kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp



# 名大生協

## 「かけはし」編集委員会行

.....山.....折.....り.....

- 氏名 \_\_\_\_\_ 組合員証番号 \_\_\_\_\_
- 所属 \_\_\_\_\_ 研究科 \_\_\_\_\_ 専攻・課 \_\_\_\_\_  
学部 \_\_\_\_\_ 学科・掛 (教職員・院生) \_\_\_\_\_  
センター \_\_\_\_\_
- 連絡先 \_\_\_\_\_ 内線 \_\_\_\_\_
- 誌上匿名希望の方はペンネーム \_\_\_\_\_

.....山.....折.....り.....

- ①ハイキング&バーベキュー【11月3日(木)】  
②生協みかんの産地見学【11月23日】  
③音としゃべりの金曜サロン「日本の音色を再発見」【12月2日】
- 参加申込用紙

番号	氏名	所属	内線	年齢	組合員証番号

①②の参加は保険の関係で年齢が必要ですので必ずご記入ください。

\_\_\_\_\_ アンケートに \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ ご協力願います。 \_\_\_\_\_

第 261 号

クイズのこたえ \_\_\_\_\_

☆今月号を讀  
んでの感想

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

☆記事にしてほしいこと。生協へのご意見やみなさんからの通信をぜひ。

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

COOPクイズへの応募、アンケートの回答は、<http://kyoshoku.coop.nagoya-u.ac.jp/kakehashi/answer.html> から送信できます。また、e-mail:kyoshoku-c@coop.nagoya-u.ac.jp でも受け付けます。必要事項をみれなく記入してください。

# CO-OP QUIZ

No. 261  
2005年10月号

縦と横に書かれた数字にしたがってマスをもめていくと絵(または文字)が現れます。それは何でしょう。(ヒント=心のままにする)



	1	1	1	1	1			1		
	1	1	1	1	1			1	7	
	1	1	1	1	1	1	1	7	1	1
	2	2	2	2	10	2	2	2	1	

				1						
		5	3	5						
		1	1	1						
		1	1	1						
		5	3	5						

				1						
		1	1	1						
		1	1	3						
				3	5					
		7	2	1	2					
		2	1	2						

\*\*\*\*\*

クイズが解けたらぜひ応募してください。クイズの嫌いな方は、ご意見だけでも歓迎します。

\*\*\*\*\*

前回の正解は「protein」でした。解き方がまだわからない方は、解答の絵の数字と黒マスの関係をよく見てください。

## 前回の問題

				1			4			
		1	1				1	1	1	1
	5	1	1				1	3	1	4
	1	6	1	3	5		1	1	1	4
							0		5	1

\*\*\*\*\*

あなたもLogicの問題を創作(出題)してみませんか。問題の投稿も歓迎します。手描きでもOK。採用の方には図書券を進呈。

### 応募要項

- 締め切りは10月20日
- 発表は本誌、11・12月号
- 正解者(但し、組合員  
 〓 当選後ご加入も可、  
 意見・感想記入者)の中  
 中から、抽選で5人の方  
 方に図書券をさしあげま  
 します。
- 生協への意見・要望をど  
 しどしお寄せ下さい。

第260号の当選者

- ・応募総数 …… 13人
- ・正解者数 …… 12人
- ・当選者 (敬称略)
- 篠原信仁 (情報科学研究科)
- 木村大至 (工学研究科)
- 馬嶋大輔 (工学研究科)
- 三宅優里 (農学部)
- 森 乙生 (農学国際教育)

以上の5人の方に図書券をお送りします。

**コンサート**

12月2日18:00～

音としゃべりの金曜サロン  
日本の音色を再発見

三味線 **やそすけ** ライブ

会場：レストラン花の木

参加費：3,000円（お食事代）

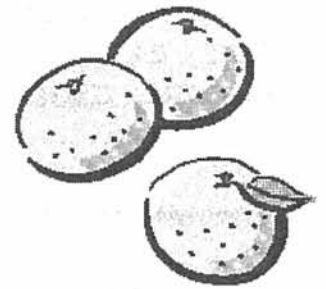


**産地見学**

11月23日

生協みかんの  
産地見学

見学先：静岡県  
引佐郡細江町  
参加費：1,000円



秋の教職員委員会  
企画満載

映像で学ぶ

「**日本国憲法**」

会場：北部厚生会館2F ゆ～どん

参加費：**無料**（飲食持ち込み可）

第3回目（10月13日）

- 5 「基本的人権とは」
- 6 「参政権とは」

第4回目（10月27日）

- 7 「裁判を受ける権利など」
- 8 「精神の自由とは」

ハイキングとバーベキュー

秋の**愛岐三山**へ

愛知県と岐阜県の  
県境にある弥勒山  
大谷山、道樹山に  
登ります。

昼は地球村に  
てBBQ。

詳しくは本紙  
P20を参照

11月3日

**連続学習会**

毎月2・4木曜日18:00～

**ハイキング**